

|                     |  |      |       |            |         |     |   |   |     |
|---------------------|--|------|-------|------------|---------|-----|---|---|-----|
| 授業科目名               | 現代社会と人間  |      |       | 科目コード      | X511-10 |     |   |   |     |
| 科目区分                | 教養科目 - 教養科目 - 人文科学系  |      | 担当教員名 | 梅本 恵 高木 綾子 |         |     |   |   |     |
| 開講時期                | 1年前期   |      | 授業の方法 | 講義         |         |     |   |   |     |
| 必修・選択               | 選択   |      | 単位数   | 1単位        |         |     |   |   |     |
| 前提科目(知識)            |  |      | 後継科目  |            |         |     |   |   |     |
| 関連科目                |  |      |       |            |         |     |   |   |     |
| 資格等<br>取得との関連       | なし   |      |       |            |         |     |   |   |     |
| 授業の概要               | 各学科教員・外部講師が各回の講義を担当し、目的について共通理解を図りつつ、オムニバス形式で開講する。詳細は教養総合科目現代社会と人間を参照のこと。  |      |       |            |         |     |   |   |     |
| 学習目標                | 総合短期大学である本学の特徴を活かし、現代社会における地域課題と密接につながる「食と健康」、「保育と育児」、「情報と経営」、「福祉と介護」の各分野、その他現代社会と地域を理解するのに役立つ幅広い事柄を自らの専攻とは異なる学生と共に学習することによって、地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うことを目的とする。 |      |       |            |         |     |   |   |     |
| キーワード               | 現代を生きる - よりよい富山のために -  |      |       |            |         |     |   |   |     |
| テキスト・<br>参考書等       | 講師によっては、授業前に資料を配付する。   |      |       |            |         |     |   |   |     |
| 学修成果                | 学生が獲得するべき具体的な成果  |      |       |            |         |     |   |   |     |
| LO-1                | 現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための方法を身につけている。   |      |       |            |         |     |   |   |     |
| LO-2                | 現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための技能を身につけている。   |      |       |            |         |     |   |   |     |
| LO-3                | 現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い思考力・判断力・表現力を持ち、実践的な展開や課題解決することが出来る。  |      |       |            |         |     |   |   |     |
| LO-4                | 地域について自ら考えようとする意欲があり、実践的な展開や課題解決方法について主体的に学びを深めることが出来る。  |      |       |            |         |     |   |   |     |
| LO-5                | 地域社会の一員であることの自覚を持ち、他者を尊重し、協力・協働を図る人間性を有している。   |      |       |            |         |     |   |   |     |
| 評価方法 /<br>LO (学修成果) | 筆記試験   |      | 提出課題  |            | 成果発表    | その他 |   |   | 合計  |
|                     | 定期試験   | 小テスト | レポート  | 作品         |         | A   | B | C |     |
| 総合評価(割合)            |  |      | 100   |            |         |     |   |   | 100 |
| LO-1                |  |      | 20    |            |         |     |   |   | 20  |
| LO-2                |  |      | 20    |            |         |     |   |   | 20  |
| LO-3                |  |      | 20    |            |         |     |   |   | 20  |
| LO-4                |  |      | 20    |            |         |     |   |   | 20  |
| LO-5                |  |      | 20    |            |         |     |   |   | 20  |
| 備考                  | 毎回の振り返りシート(40%程度)、最終回のパネルディスカッションに関するレポート(60%程度)の内容を、LO1・LO2・LO3・LO4・LO5それぞれの観点で総合的に評価する。尚、追再試験は実施しない。   |      |       |            |         |     |   |   |     |

授業計画

| 回数  | 授業内容 詳細  | 標準時間 |
|-----|--|------|
| 第1回 | 学長 宮田 伸朗・富山国際大学 子ども育成学部教授 大藪 敏宏・富山近代史研究会会員舟竹 孝<br>「富山短期大学のDNAを探る - 「聖地」老田地区願海寺・野々上と「父祖」南原繁 - 」 |      |
|     | 【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。   | 0分   |
|     | 【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。   | 0分   |
| 第2回 | 富山短期大学 食物栄養学科 教授 田淵 英一<br>「人生の勝ち組と負け組について考えよう」(ディベート)  |      |
|     | 【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。  | 0分   |
|     | 【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。   | 0分   |
| 第3回 | 富山短期大学 経営情報学科 准教授 高木 綾子<br>「相手の心に寄り添うおもてなしとは」  |      |
|     | 【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。   | 0分   |
|     | 【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。   | 0分   |
| 第4回 | 富山短期大学 福祉学科 准教授 井上 理絵<br>「触れるケアの効果」  |      |
|     | 【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。  | 0分   |
|     | 【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。   | 0分   |
| 第5回 | 富山県美術館 館長 雪山 行二<br>「美術館に何が可能か」   |      |
|     | 【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。  | 0分   |
|     | 【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。   | 0分   |
| 第6回 | 富山短期大学 幼児教育学科 准教授 山川 賀世子<br>「子どもの心の発達」   |      |
|     | 【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。   | 0分   |
|     | 【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。   | 0分   |
| 第7回 | 舟橋村長 金森 勝雄<br>「日本一ちいさな村から発信する「子育て共助のまちづくり」」  |      |
|     | 【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。   | 0分   |
|     | 【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。   | 0分   |
| 第8回 | 学内講師によるパネルディスカッション   |      |
|     | 【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。   | 0分   |
|     | 【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。   | 0分   |

|                     |  |      |       |       |         |     |   |   |     |
|---------------------|--|------|-------|-------|---------|-----|---|---|-----|
| 授業科目名               | 教育心理学  |      |       | 科目コード | T211-20 |     |   |   |     |
| 科目区分                | 教職に関する科目 - 教職に関する科目  |      | 担当教員名 | 樋口 康彦 |         |     |   |   |     |
| 開講時期                | 1年前期   |      | 授業の方法 | 講義    |         |     |   |   |     |
| 必修・選択               | 選択   |      | 単位数   | 2単位   |         |     |   |   |     |
| 前提科目(知識)            | 高校卒業程度の一般的知識   |      | 後継科目  | 教育相談  |         |     |   |   |     |
| 関連科目                | 教師論、教育原理、教育課程総論  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 資格等<br>取得との関連       | 栄養教諭二種免許に必須  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 授業の概要               | 人間の学習のメカニズムや学習指導の理論、知的発達や人格発達、教育の評価、教師と子どもの関係などについて、広く学んでいく。また、基礎知識の習得に加え、それらをふまえて「教育現場で、自分自身が子どもにどのように関わるべきか」を学生自身が常に問い続け、考え続けることを重視する。 |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 学習目標                | 教育活動に携わる上で重要な、人間の心のしくみや働き、また、その発達のプロセスを理解する。そのために、教育心理学の主要領域を概観し、基礎的理解を深めることを目的とする。教育に携わる際に必要となる、人間の心の仕組みや働き、その発達のプロセスをきちんと理解していること。     |      |       |       |         |     |   |   |     |
| キーワード               | 心理学、子ども、学校   |      |       |       |         |     |   |   |     |
| テキスト・<br>参考書等       | テキストは特になし。<br>参考書は、「やさしい教育心理学」(有斐閣)、「教育心理学 第3版 ベーシック現代心理学6」(有斐閣)。  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 学修成果                | 学生が獲得するべき具体的な成果  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| LO-1                | 教育に携わる際に必要となる、人間の心の仕組みや働き、その発達のプロセスをきちんと理解していること。  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| LO-2                | (該当しない)  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| LO-3                | (該当しない)  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 評価方法 /<br>LO (学修成果) | 筆記試験   |      | 提出課題  |       | 成果発表    | その他 |   |   | 合計  |
|                     | 定期試験   | 小テスト | レポート  | 作品    |         | A   | B | C |     |
| 総合評価(割合)            | 70   |      |       |       |         | 30  |   |   | 100 |
| LO-1                | 70   |      |       |       |         | 30  |   |   | 100 |
| LO-2                |  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| LO-3                |  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 備考                  | 定期試験70%、その他A(30)は、積極性などの授業態度で評価する。<br>レポートは採点后、コメントをつけて返却する。   |      |       |       |         |     |   |   |     |

授業計画

| 回数   | 授業内容 詳細  | 標準時間 |
|------|--|------|
| 第1回  | オリエンテーション。教育心理とは何か。幼児期における心身の発達に対する外的・内的要因の相互作用。発達に関する代表的理論について。 |      |
|      | 【予習】シラバスを見て、授業内容を確認する。   | 15分  |
|      | 【復習】オリエンテーション内容を振り返り、半期間の授業予定を確認する。                              | 15分  |
| 第2回  | 発達を促す。児童期における心身の発達に対する外的・内的要因の相互作用。                              |      |
|      | 【予習】「発達」と「成長」の意味を調べ、プリントを読んでおく。                                  | 15分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。                                    | 135分 |
| 第3回  | 発達の概念および教育における発達理解の意義。   |      |
|      | 【予習】教育心理学における発達について調べ、プリントを読んでおく。                                | 15分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。  | 135分 |
| 第4回  | 乳幼児期から青年期における運動発達、言語発達について。                                      |      |
|      | 【予習】言語能力の発達について調べ、プリントを読んでおく。                                    | 15分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。  | 135分 |
| 第5回  | 乳幼児期から青年期における認知発達、社会性発達について。                                     |      |
|      | 【予習】対象永続性、保存の概念の意味を調べ、プリントを読んでおく。                                | 15分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。                                    | 135分 |
| 第6回  | レスポナント条件づけ、オペラント条件づけ、試行錯誤、モデリング、洞察について理解する。                      |      |
|      | 【予習】「学習」の意味を調べ、プリントを読んでおく。                                       | 15分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。  | 135分 |
| 第7回  | 様々な学習の形態や概念およびその過程を説明する代表的な理論について。                               |      |
|      | 【予習】モデリング、学習の能率について調べ、プリントを読んでおく。                                | 15分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。  | 135分 |
| 第8回  | 動機づけ、集団づくり、学習評価の在り方について発達の特徴と関連付けて理解する。                          |      |
|      | 【予習】内発的動機づけ、外発的動機づけ、学級経営の意味を調べ、プリントを読んでおく。                       | 15分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。                                    | 135分 |
| 第9回  | やる気を高める工夫。学級集団の機能、学級集団の理解、学級集団の指導。学級集団の構造と教師の影響について。             |      |
|      | 【予習】効果的な学級経営について調べ、プリントを読んでおく。                                   | 15分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。  | 135分 |
| 第10回 | 幼児・児童・生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方について理解する。              |      |
|      | 【予習】内発的動機づけを高めるための方法について調べ、プリントを読んでおく。                           | 15分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。  | 135分 |

|      |  |      |
|------|--|------|
| 第11回 | レディネス、学習の転移、様々な学習法について理解する。                                  |      |
|      | 【予習】レディネスの意味を調べ、プリントを読んでおく。                                  | 15分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。                        | 180分 |
| 第12回 | 知能の理論。知能の発達。流動性知能と結晶性知能。知能の恒常性。知能の週末低下。                      |      |
|      | 【予習】知能の意味を調べ、プリントを読んでおく。                                     | 15分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。                        | 180分 |
| 第13回 | 性格の理論。性格形成の要因(遺伝と環境の要因)。親の養育態度が性格に与える影響。きょうだい関係が性格に与える影響。    |      |
|      | 【予習】性格形成の要因について調べ、プリントを読んでおく。                                | 15分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。また、最終テストに向けて総復習を始める。            | 180分 |
| 第14回 | 欲求について。欲求階層説。ホメオスタシスとは何か。生理的適応と行動的適応。欲求不満耐性。                 |      |
|      | 【予習】マズロー、欲求不満について調べ、プリントを読んでおく。                              | 15分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。                        | 180分 |
| 第15回 | 記憶のしくみ。記憶と忘却。エビングハウスの忘却曲線。長く記憶するための条件。フラッシュバルブ記憶について。テストの説明。 |      |
|      | 【予習】記憶のしくみについて調べる。   | 420分 |
|      | 【復習】今回のプリントの内容を復習する。これまでの授業を振り返り、章ごとに重要点をまとめる。               | 120分 |

|                    |   |      |       |       |         |     |   |   |     |
|--------------------|---|------|-------|-------|---------|-----|---|---|-----|
| 授業科目名              | 保育原理  |      |       | 科目コード | C111-10 |     |   |   |     |
| 科目区分               | 専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育   |      | 担当教員名 | 石動 瑞代 |         |     |   |   |     |
| 開講時期               | 1年前期  |      | 授業の方法 | 講義    |         |     |   |   |     |
| 必修・選択              | 必修  |      | 単位数   | 2単位   |         |     |   |   |     |
| 前提科目(知識)           |   |      | 後継科目  | 保育者論  |         |     |   |   |     |
| 関連科目               | 保育課程論 保育内容総論 教育原理 児童社会  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 資格等<br>取得との関連      | 幼稚園教諭二種免許、保育士資格   |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 授業の概要              | 保育の特性や保育内容・方法に関する知識を学びながら、保育の基本的考え方を理解する。また、保育思想や歴史、諸外国での保育について学ぶとともに、日本の保育の現状を見つめ、現代の課題とその解決について考える。課題シートやグループ討議等を通して学び、自らの子ども観や保育観の形成につなげていくことをめざす。 |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 学習目標               | 保育の意義及び保育の基本理念について理解する。<br>保育の内容と方法の基本構造を学び、実際の保育場面を通して理解する。<br>保育の思想や歴史的変遷を学び、現代の保育について考察する。   |      |       |       |         |     |   |   |     |
| キーワード              | 子ども観と保育観、養護と教育、子どもの最善の利益  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| テキスト・<br>参考書等      | テキスト：『実践を創造する保育原理 第二版』豊田和子編（みらい）<br>参考図書：『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』文部科学省編（フレーベル   |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 学修成果               | 学生が獲得するべき具体的な成果   |      |       |       |         |     |   |   |     |
| LO-1               | 【知識・理解】 保育の基本的な事項や制度に関する用語等を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。保育の意義を説明することができる。  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| LO-2               | 【技能】 保育事例を、保育の基本的視点に沿って読み取ることができる。  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| LO-3               | 【思考力・判断力・表現力】 保育の基本理念を通して、自らの子ども観・保育観について、考えを深めることができる。   |      |       |       |         |     |   |   |     |
| LO-4               | 【関心・意欲・態度】 保育の現状を的確に把握し、社会のニーズをふまえた保育のあり方・課題について、自ら考えようとする。   |      |       |       |         |     |   |   |     |
| LO-5               | 【人間性・社会性】 他者の意見（子ども観・保育観等）を受容し、自らの意見に反映しようとする。自らの保育観や子ども観を、他者に表明することができる。   |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 評価方法 /<br>LO（学修成果） | 筆記試験  |      | 提出課題  |       | 成果発表    | その他 |   |   | 合計  |
|                    | 定期試験  | 小テスト | レポート  | 作品    |         | A   | B | C |     |
| 総合評価(割合)           | 70  | 10   | 10    |       |         | 10  |   |   | 100 |
| LO-1               | 50  | 10   |       |       |         |     |   |   | 60  |
| LO-2               | 10  |      |       |       |         |     |   |   | 10  |
| LO-3               | 10  |      |       |       |         |     |   |   | 10  |
| LO-4               |   |      | 10    |       |         | 5   |   |   | 15  |
| LO-5               |   |      |       |       |         | 5   |   |   | 5   |
| 備考                 | その他 A は、受講態度とする。<br>提出課題に対しては口頭及び紙面にてコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。  |      |       |       |         |     |   |   |     |

授業計画

| 回数   | 授業内容 詳細   | 標準時間 |
|------|---|------|
| 第1回  | オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等の説明)<br>保育とは何か ~ 保育、教育という語が意味する内容を知り、保育の要素をさぐる。                    |      |
|      | 【予習】シラバスに目を通し、授業のねらいや内容を確認する。   | 10分  |
|      | 【復習】講義内容をノートにまとめる。<br>テキスト第1章を読み、内容を理解する。   | 60分  |
| 第2回  | 保育とは何か ~ 養護と教育の具体的な意味を知る。<br>保育が養護と教育が一体的に展開されるものであることを理解する。                              |      |
|      | 【予習】P11の内容をノートに書いておく。<br>テキスト第2章『現代社会と子どもの育ち』のp29まで読んでおく。                                 | 100分 |
|      | 【復習】講義内容をノートにまとめる。<br>テキスト第8章の関連部分を読み、内容を理解する。  | 80分  |
| 第3回  | 子ども観と保育観<br>子ども観の変遷を知る。自らの子ども観をふりかえる。   |      |
|      | 【予習】前回の講義中に提示されたテーマについて、自分の考えをまとめて、文章で表す。   | 80分  |
|      | 【復習】講義内容をノートにまとめる。<br>他者の意見を聞いて感じたことをまとめて、文章化する。  | 60分  |
| 第4回  | 子ども観と保育観<br>子ども観と発達観、保育観の関連について理解する。  |      |
|      | 【予習】<br>テキスト第7章を読み、内容をまとめる。   | 40分  |
|      | 【復習】参考文献、資料等を読んで、子ども観・発達観・保育観についてまとめる。  | 120分 |
| 第5回  | 集団施設保育の意義と役割<br>保育所・幼稚園・認定こども園等の機能を理解し、その社会的役割を考える。                                       |      |
|      | 【予習】テキスト 第3章の制度と現状を読み、分かりにくい語句などを調べておく。   | 60分  |
|      | 【復習】集団保育施設の制度等を整理してまとめる。<br>教科書第2章現代社会と子どもの育ちのp30~ を読んで、まとめる。                             | 120分 |
| 第6回  | 保育のめざす姿とは<br>保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいを理解する。                                 |      |
|      | 【予習】保育所保育指針第1章総則、幼稚園教育要領 第1章幼稚園教育の基本を読んでおく。   | 30分  |
|      | 【復習】指針や要領等に書かれている内容と保育のめざす姿との関連を再確認しておく。<br>教科書第8章『保育の基本』を読み、内容をまとめておく                    | 30分  |
| 第7回  | 保育の内容と方法<br>保育所保育指針・幼稚園教育要領の構造を理解する。保育の内容と方法について知る。                                       |      |
|      | 【予習】指針や要領、教育・保育要領を読み、章立てを理解する。<br>指針第3章、要領第2章、教育・保育要領第2章を読む。                              | 40分  |
|      | 【復習】講義内容をノートにまとめるとともに、指針・要領等の重要語句を覚える。<br>小テストにむけて、準備のための学習をする。                           | 240分 |
| 第8回  | 保育の内容と方法<br>保育の内容と方法の関連を、具体的な事例を通して学ぶ。 小テスト実施   |      |
|      | 【予習】前回のノートや指針・要領の重要語句を再確認しておく。  | 60分  |
|      | 【復習】小テストの結果を確認し、理解が不十分な点について、テキスト・ノート等で確認する。<br>教科書第10章『保育の方法と進め方』第11章『保育の計画と保育の質の向上』を読む。 | 50分  |
| 第9回  | 保育の歴史と思想<br>西欧の保育の歴史を学ぶ コメニウス-フレーベルの思想から  |      |
|      | 【予習】テキスト第5章『世界の保育の歴史に学ぼう』を読む。   | 40分  |
|      | 【復習】コメニウス-フレーベルまでの主要な思想家の思想と著書等を整理してまとめる。   | 150分 |
| 第10回 | 保育の歴史と思想<br>西欧の保育の歴史を学ぶ モンテッソーリとシュタイナーの思想から   |      |
|      | 【予習】配布資料を読んでおく。   | 30分  |
|      | 【復習】モンテッソーリ保育について、理念や保育方法の特徴をまとめる。<br>シュタイナー保育について、理念や保育方法の特徴をまとめる。                       | 120分 |

|      |  |      |
|------|--|------|
| 第11回 | 保育の歴史と思想<br>日本における保育の歴史と思想   |      |
|      | 【予習】配布資料を十分に読んでおく。<br>テキスト第6章を読む。  | 40分  |
|      | 【復習】講義内容をまとめる。主要な人物とその背景を整理する。   | 120分 |
| 第12回 | 保育の歴史と思想<br>倉橋惣三の保育論を中心に、保育者像を考える  |      |
|      | 【予習】配布資料を十分に読んでおく。<br>テキスト第4章『保育者に求められるもの - 資質と専門性 -』を読む。                                    | 40分  |
|      | 【復習】講義中に提示されたテーマについて、自らの意見をまとめて文章化する。<br>小テストにむけて、これまでの学習内容を整理してまとめる。                        | 240分 |
| 第13回 | 諸外国における保育の取り組み<br>諸外国の保育制度について学び、日本における保育制度の課題を探る。 <span style="float: right;">小テスト実施</span> |      |
|      | 【予習】テキスト第13章『海外の保育に目を向けてみよう』を読み、疑問や質問を文章化しておく。<br>インターネットで、諸外国の保育制度について調べる。                  | 60分  |
|      | 【復習】課題プリントを仕上げる（海外の取り組みから、日本の保育制度の課題を考え、レポート用紙に書く）<br>小テストの出題内容について、再確認しておく。                 | 180分 |
| 第14回 | 家庭における保育<br>家庭における保育の実情を知る。家庭生活と子どもの発達との関連について考える。   |      |
|      | 【予習】テキスト12章『大切な保護者支援と地域連携』を読む。   | 40分  |
|      | 【復習】テキスト、資料などの内容から保育所等における子育て支援の在り方について、レポートを作成する。   | 180分 |
| 第15回 | 現在の保育における課題<br>小学校との連携、保育の質の向上   |      |
|      | 【予習】テキスト第14章『保育をめぐるこれからの課題について』を読む。  | 40分  |
|      | 【復習】これまでの講義内容のまとめ<br>定期試験のための準備学習  | 240分 |

|                     |   |      |       |        |         |     |   |   |     |
|---------------------|---|------|-------|--------|---------|-----|---|---|-----|
| 授業科目名               | 保育の心理学  |      |       | 科目コード  | C121-10 |     |   |   |     |
| 科目区分                | 専門科目 - 保育の対象理解 - 心理   |      | 担当教員名 | 山川 賀世子 |         |     |   |   |     |
| 開講時期                | 1年前期  |      | 授業の方法 | 講義     |         |     |   |   |     |
| 必修・選択               | 必修  |      | 単位数   | 2単位    |         |     |   |   |     |
| 前提科目(知識)            |   |      | 後継科目  | 保育の心理学 |         |     |   |   |     |
| 関連科目                | 教育心理学 幼児理解と教育相談 、   |      |       |        |         |     |   |   |     |
| 資格等<br>取得との関連       | 幼稚園教諭二種免許・保育士免許   |      |       |        |         |     |   |   |     |
| 授業の概要               | 人の心の発達について、乳幼児期を中心に広く学んでいく。発達心理学の基礎知識の習得に加え、それらをふまえて「保育・教育現場で、自分自身が子どもにどのように関わるべきか」を学生自身が常に問い続け、考え続けることを重視する。 |      |       |        |         |     |   |   |     |
| 学習目標                | 人の心、特に、保育の対象（乳幼児）となる子どもの心について理解する。そのために、乳幼児期に焦点をあてながら、発達心理学の主要領域を概観し、基礎的理解を深めることを目的とする。                       |      |       |        |         |     |   |   |     |
| キーワード               | 発達心理学、乳幼児、保育  |      |       |        |         |     |   |   |     |
| テキスト・<br>参考書等       | 毎回プリントを配布する。  |      |       |        |         |     |   |   |     |
| 学修成果                | 学生が獲得するべき具体的な成果   |      |       |        |         |     |   |   |     |
| LO-1                | 保育現場で子どもに関わる際に必要となる、子どもの心の仕組みや働き、その発達のプロセスをきちんと理解していること。  |      |       |        |         |     |   |   |     |
| LO-2                |   |      |       |        |         |     |   |   |     |
| LO-3                |   |      |       |        |         |     |   |   |     |
| LO-4                |   |      |       |        |         |     |   |   |     |
| LO-5                |   |      |       |        |         |     |   |   |     |
| 評価方法 /<br>LO (学修成果) | 筆記試験  |      | 提出課題  |        | 成果発表    | その他 |   |   | 合計  |
|                     | 定期試験  | 小テスト | レポート  | 作品     |         | A   | B | C |     |
| 総合評価(割合)            | 100   |      |       |        |         |     |   |   | 100 |
| LO-1                | 100   |      |       |        |         |     |   |   | 100 |
| LO-2                |   |      |       |        |         |     |   |   |     |
| LO-3                |   |      |       |        |         |     |   |   |     |
| LO-4                |   |      |       |        |         |     |   |   |     |
| LO-5                |   |      |       |        |         |     |   |   |     |
| 備考                  |   |      |       |        |         |     |   |   |     |

授業計画

| 回数   | 授業内容 詳細  | 標準時間 |
|------|--|------|
| 第1回  | オリエンテーション  |      |
|      | 【予習】シラバスを見て、授業内容を確認する。   | 15分  |
|      | 【復習】オリエンテーション内容を振り返り、半期間の授業予定を確認する。                                      | 15分  |
| 第2回  | 発達を促す  |      |
|      | 【予習】「発達」と「成長」の意味を調べておく。子どもの発達を促すためには何が重要だと思うか、考えをまとめておく。                 | 30分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習し、授業内容を踏まえた上で、子どもの発達を促すために重要なことを自分なりにまとめる。                 | 120分 |
| 第3回  | 乳幼児期のからだの発達（からだ）   |      |
|      | 【予習】乳児と幼児のからだの発達について調べておく。   | 30分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。  | 120分 |
| 第4回  | 乳幼児期のからだの発達（食事）  |      |
|      | 【予習】乳幼児期の食事の特徴について調べておく。   | 30分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。  | 120分 |
| 第5回  | 乳幼児期のからだの発達（排泄行動）  |      |
|      | 【予習】「排泄訓練」の意味を調べておく。自分の排泄訓練について、親に話を聞きまとめておく。                            | 30分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。  | 120分 |
| 第6回  | 乳幼児期・児童期の知的能力の発達   |      |
|      | 【予習】乳幼児期の知的能力の特徴について調べておく。   | 30分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。  | 120分 |
| 第7回  | 児童期の学校生活   |      |
|      | 【予習】園生活から小学校生活に変化することにより、子どもや親にどのような変化が生じると思うか、自分の考えをまとめておく。             | 30分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。  | 120分 |
| 第8回  | 思春期・青年期  |      |
|      | 【予習】「思春期」・「青年期」・「アイデンティティ」の意味を調べた上で、思春期や青年期の特徴はどのようなものであるか、自分の考えをまとめておく。 | 30分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。  | 120分 |
| 第9回  | 成人期  |      |
|      | 【予習】「成人期」の意味を調べてた上で、この時期の特徴はどのようなものであるか、自分の考えをまとめておく。                    | 30分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。  | 120分 |
| 第10回 | 高齢期  |      |
|      | 【予習】「高齢期」の意味を調べた上で、この時期の特徴はどのようなものであるか、自分の考えをまとめておく。                     | 30分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。  | 120分 |

|      |   |      |
|------|---|------|
| 第11回 | さまざまな発達理論   |      |
|      | 【予習】特になし  | 0分   |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。   | 150分 |
| 第12回 | 障害（さまざまな障害）   |      |
|      | 【予習】「障害」の意味を調べる。子どもが抱える可能性のある障害には、どのようなものがあるか、調べておく。                            | 30分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を行う。  | 165分 |
| 第13回 | 障害（保育士の役割）  |      |
|      | 【予習】第12回で学んだことを踏まえ、保育の対象である子どもに障害が見られた時、保育者は子どもや保護者に対して何をなすべきであるか、自分の考えをまとめておく。 | 30分  |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を行う。  | 165分 |
| 第14回 | 家族の発達   |      |
|      | 【予習】特になし  | 0分   |
|      | 【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を行う。次回の質問時間に向けて、自分のわからない部分を整理する。                | 195分 |
| 第15回 | 総まとめ・最終テストに向けての質問   |      |
|      | 【予習】テスト範囲となるところを中心に、これまで学んだことをしっかりと理解しておく。                                      | 420分 |
|      | 【復習】これまでの授業を振り返る。   | 120分 |

|                   |  |      |       |       |         |     |   |   |     |
|-------------------|--|------|-------|-------|---------|-----|---|---|-----|
| 授業科目名             | 教育原理   |      |       | 科目コード | C111-20 |     |   |   |     |
| 科目区分              | 専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育  |      | 担当教員名 | 高木 三郎 |         |     |   |   |     |
| 開講時期              | 1年前期   |      | 授業の方法 | 講義    |         |     |   |   |     |
| 必修・選択             | 必修   |      | 単位数   | 2単位   |         |     |   |   |     |
| 前提科目(知識)          | なし   |      | 後継科目  | 児童社会  |         |     |   |   |     |
| 関連科目              | 保育原理 児童家庭福祉 社会福祉   |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 資格等<br>取得との関連     | 幼稚園教諭二種免許、保育士資格  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 授業の概要             | (幼児)教育の基礎・基本的な理論・歴史・制度等から、現代学校教育の成り立ちと変遷を理解し、現代の教育の課題や教師(保育士)のあり方等の教育の本質に関する理論的・実践的知識の基礎を学ぶ。                       |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 学習目標              | 1 (幼児)教育の歴史や思想を基に、教育(保育)に関する基礎的な理論を理解する。<br>2 幼稚園教育と小学校教育の連続性を視点に、教育課程の内容・意義・編成の方法を理解する。<br>3 日本や諸外国の教育制度について理解する。 |      |       |       |         |     |   |   |     |
| キーワード             | 子ども観、教育観、発達観、教育史、教育思想、教育方法、教育内容、教育課程、教育制度、教育行政、生涯学習、特別支援教育   |      |       |       |         |     |   |   |     |
| テキスト・<br>参考書等     | テキスト:『子どもの教育の原理～保育の明日をひらくために～』編著 古橋和夫 萌文書林   |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 学修成果              | 学生が獲得するべき具体的な成果  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| LO-1              | (幼児)教育の基礎・基本的な理論・歴史・制度等について理解を深め、教育に関する基礎的な知識を身につけている。   |      |       |       |         |     |   |   |     |
| LO-2              | (該当しない)  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| LO-3              | 学修した知識を総合して、教育の基本について適切な判断ができ、説明することができる。  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| LO-4              | 教育の課題について関心をもって意欲的に把握することに努め、学びを深めることができる。   |      |       |       |         |     |   |   |     |
| LO-5              | (該当しない)  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 評価方法/<br>LO(学修成果) | 筆記試験   |      | 提出課題  |       | 成果発表    | その他 |   |   | 合計  |
|                   | 定期試験   | 小テスト | レポート  | 作品    |         | A   | B | C |     |
| 総合評価(割合)          | 70   |      | 10    |       |         | 20  |   |   | 100 |
| LO-1              | 50   |      |       |       |         |     |   |   | 50  |
| LO-2              |  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| LO-3              | 20   |      |       |       |         |     |   |   | 20  |
| LO-4              |  |      | 10    |       |         | 20  |   |   | 30  |
| LO-5              |  |      |       |       |         |     |   |   |     |
| 備考                | その他 A は平常点(受講態度等)<br>提出を求めるレポートについては、コメントをつけて返却する。   |      |       |       |         |     |   |   |     |

授業計画

| 回数   | 授業内容 詳細   | 標準時間 |
|------|---|------|
| 第1回  | オリエンテーション<br>授業の目的、評価などについて                                       |      |
|      | 【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。  | 45分  |
|      | 【復習】授業の全体像を確認する。  | 45分  |
| 第2回  | 教育の理念と子ども観  |      |
|      | 【予習】テキストの該当部分（p 1 2 - p 2 7）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。     | 90分  |
|      | 【復習】「教育とは何か」「子どもとは何か」について確認し、自分の子ども観や教育観について考える。                  | 90分  |
| 第3回  | 幼児教育を築いた人々  |      |
|      | 【予習】テキストの該当部分（p 2 8 - p 3 9）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。     | 90分  |
|      | 【復習】西洋の主な教育理論や日本の教師（保育士）に影響を与えた教育者とその理論を確認する。                     | 90分  |
| 第4回  | 幼児教育を築いた人々  |      |
|      | 【予習】テキストの該当部分（p 4 0 - p 5 1）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。     | 90分  |
|      | 【復習】西洋の主な教育理論や日本の教師（保育士）に影響を与えた教育者とその理論を確認する。                     | 90分  |
| 第5回  | わが国の教育史の概要  |      |
|      | 【予習】テキストの該当部分（p 5 2 - p 6 8）、及び子育てに関わる諺や伝承を調べておく                  | 90分  |
|      | 【復習】日本の近代以前の教育の特徴、及び近代以降の教育の変遷について確認する                            | 90分  |
| 第6回  | わが国の幼児教育と保育の歴史  |      |
|      | 【予習】テキストの該当部分（p 5 9 - p 6 9）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。     | 90分  |
|      | 【復習】わが国戦後における幼児教育と保育の変遷を確認する                                      | 90分  |
| 第7回  | 教育と児童福祉における目的と目標（その1）   |      |
|      | 【予習】テキストの該当部分（p 1 0 6 - p 1 1 4）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。 | 90分  |
|      | 【復習】幼稚園及び保育所の目的と目標を確認する   | 90分  |
| 第8回  | 教育と児童福祉における目的と目標（その2）<br>具体的事例を通して理解を深める                          |      |
|      | 【予習】テキストの該当部分（p 1 1 4 - p 1 1 9）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。 | 90分  |
|      | 【復習】幼稚園及び保育所の目的と目標を確認する   | 90分  |
| 第9回  | わが国の幼児教育・保育の制度  |      |
|      | 【予習】テキストの該当部分（p 1 2 0 - p 1 2 6）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。 | 90分  |
|      | 【復習】日本の幼児教育・保育の制度を確認する。   | 90分  |
| 第10回 | 外国の幼児教育・保育の制度   |      |
|      | 【予習】テキストの該当部分（p 1 2 7 - p 1 4 0）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。 | 90分  |
|      | 【復習】外国の幼児教育・保育の制度を確認する。   | 90分  |

|      |  |     |
|------|--|-----|
| 第11回 | 子どもの発達の特徴と遊び(その1)  |     |
|      | 【予習】テキストの該当部分(p162-p174)を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。          | 90分 |
|      | 【復習】0-2歳児の各年齢の発達の特徴と遊びを整理し、保育者のかかわりのポイントを確認する                      | 90分 |
| 第12回 | 子どもの発達の特徴と遊び(その2)  |     |
|      | 【予習】テキストの該当部分(p175-p189)を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。          | 90分 |
|      | 【復習】3-5歳児の各年齢の発達の特徴と遊びを整理し、保育者のかかわりのポイントを確認する                      | 90分 |
| 第13回 | 教育課程・保育課程の編成と教育評価  |     |
|      | 【予習】テキストの該当部分(p142-p161、p190-211)を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。 | 90分 |
|      | 【復習】教育課程・保育課程の意義と作成方法、および教育評価の方法を確認する                              | 90分 |
| 第14回 | 現代の教育課題について(生涯学習社会、家庭、地域との関わり、特別支援教育)                              |     |
|      | 【予習】テキストの該当部分(p226-p237)を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。          | 90分 |
|      | 【復習】生涯学習社会における幼児教育の意義、家庭や地域が教育に果たす役割、及び特別支援教育の考え方を確認する             | 90分 |
| 第15回 | これからの保育者に求められるもの   |     |
|      | 【予習】自分の理想とする保育士像を確認する  | 90分 |
|      | 【復習】自分の理想とする保育士像について改めて確認する  | 90分 |

|                     |  |      |       |                    |         |     |   |   |     |
|---------------------|--|------|-------|--------------------|---------|-----|---|---|-----|
| 授業科目名               | 簿記演習   |      |       | 科目コード              | M133-22 |     |   |   |     |
| 科目区分                | 専門科目 - 会計科目 - 会計   |      | 担当教員名 | 加納 輝尚              |         |     |   |   |     |
| 開講時期                | 2年前期   |      | 授業の方法 | 演習                 |         |     |   |   |     |
| 必修・選択               | 選択   |      | 単位数   | 1単位                |         |     |   |   |     |
| 前提科目(知識)            | 日商簿記3級合格者(レベル)対象。できれば開講までに、貸出教材等で2級の内容に一通り触れてい   |      | 後継科目  | 財務会計演習 原価計算演習 管理会計 |         |     |   |   |     |
| 関連科目                | 財務会計、原価計算  |      |       |                    |         |     |   |   |     |
| 資格等<br>取得との関連       | 日商簿記検定2級, 上級ビジネス実務士( ), 上級情報処理士( )<br>ウェブデザイン実務士( ), ビジネス実務士( ), 情報処理士( )  |      |       |                    |         |     |   |   |     |
| 授業の概要               | 指定した問題集を用いて、とにかく自分の手を動かすことを中心にした演習を進めます。大幅改正された新論点の範囲もカバーし、特に商業簿記を中心に、難易度の急上昇している2級合格のための本質的な問題の実践的な演習を行います。<br>昨年度から、従来1級の論点であった連結会計や外貨建取引、圧縮記帳などの会計処理が出題範囲に含まれますので、合格するためには従来よりも相当多くの勉強量が要求されます。 |      |       |                    |         |     |   |   |     |
| 学習目標                | 商業簿記を中心とし、日商簿記検定2級の標準的な問題の本質を理解した上で、解答ができるようになることを目的とします。  |      |       |                    |         |     |   |   |     |
| キーワード               | 日商簿記検定2級、粘り強さ、時間とエネルギーの集中投下  |      |       |                    |         |     |   |   |     |
| テキスト・<br>参考書等       | 指定問題集・桑原知之『日商簿記2級 未来のための過去問題集』ネットスクール出版  |      |       |                    |         |     |   |   |     |
| 学修成果                | 学生が獲得するべき具体的な成果  |      |       |                    |         |     |   |   |     |
| LO-1                | 【知識・理解力】日商簿記2級レベルの基本的な論点を理解し、標準的な問題が解ける。   |      |       |                    |         |     |   |   |     |
| LO-2                |  |      |       |                    |         |     |   |   |     |
| LO-3                | 【思考・判断力】日商簿記2級基本問題レベルの各種設問に対処でき、正解までたどり着ける。  |      |       |                    |         |     |   |   |     |
| LO-4                | 【関心・意欲・態度】能動的で積極的な学習態度がみられる。   |      |       |                    |         |     |   |   |     |
| LO-5                |  |      |       |                    |         |     |   |   |     |
| 評価方法 /<br>LO (学修成果) | 筆記試験   |      | 提出課題  |                    | 成果発表    | その他 |   |   | 合計  |
|                     | 定期試験   | 小テスト | レポート  | 作品                 |         | A   | B | C |     |
| 総合評価(割合)            | 80   |      |       |                    |         | 20  |   |   | 100 |
| LO-1                | 60   |      |       |                    |         |     |   |   | 60  |
| LO-2                |  |      |       |                    |         |     |   |   |     |
| LO-3                | 20   |      |       |                    |         |     |   |   | 20  |
| LO-4                |  |      |       |                    |         | 20  |   |   | 20  |
| LO-5                |  |      |       |                    |         |     |   |   |     |
| 備考                  | 2級に絶対合格するぞ!という意気込みのある人が対象です。<br>2級合格のためには、それ相応の時間とエネルギーの投下、そしてねばり強さが必要です。<br>皆さんからのご意見等は、次の講義にフィードバック・共有します。   |      |       |                    |         |     |   |   |     |

授業計画

| 回数   | 授業内容 詳細  | 標準時間 |
|------|--|------|
| 第1回  | 【ガイダンス 簿記の基本の総復習 銀行勘定調整表】                          |      |
|      | 【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。 | 60分  |
|      | 【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。     | 90分  |
| 第2回  | 【銀行勘定調整表 手形の更改 不渡り 営業外手形 債務の保証】                    |      |
|      | 【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。 | 60分  |
|      | 【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。     | 90分  |
| 第3回  | 【クレジット売掛金 電子記録債権 売買目的有価証券】                         |      |
|      | 【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。 | 60分  |
|      | 【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。     | 90分  |
| 第4回  | 【売買目的有価証券 満期保有目的債券 子会社・関連会社株式 その他有価証券】             |      |
|      | 【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。 | 60分  |
|      | 【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。     | 90分  |
| 第5回  | 【有価証券の総合問題 建設仮勘定 固定資産の割賦購入】                        |      |
|      | 【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。 | 60分  |
|      | 【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。     | 90分  |
| 第6回  | 【固定資産の除却と買替え、滅失 資本的支出と収益的支出】                       |      |
|      | 【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。 | 60分  |
|      | 【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。     | 90分  |
| 第7回  | 【無形固定資産 研究開発費 割引きと割戻し】                             |      |
|      | 【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。 | 60分  |
|      | 【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。     | 90分  |
| 第8回  | 【売上の計上基準 役務収益・役務費用 総合問題】                           |      |
|      | 【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。 | 60分  |
|      | 【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。     | 90分  |
| 第9回  | 【株式会社と株式の発行 会社の合併 剰余金の処分】                          |      |
|      | 【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。 | 60分  |
|      | 【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。     | 90分  |
| 第10回 | 【株主資本の係数の変動 株主資本等変動計算書】                            |      |
|      | 【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。 | 60分  |
|      | 【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。     | 90分  |

|      |  |      |
|------|--|------|
| 第11回 | 【租税公課と法人税等 消費税 貸倒引当金 その他の引当金】  |      |
|      | 【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。                                 | 60分  |
|      | 【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。                                     | 90分  |
| 第12回 | 【決算手続きと精算表 財務諸表 月次決算】  |      |
|      | 【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。                                 | 60分  |
|      | 【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。                                     | 90分  |
| 第13回 | 【外貨建取引 リース取引 圧縮記帳】   |      |
|      | 【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。                                 | 60分  |
|      | 【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。                                     | 90分  |
| 第14回 | 【本支店会計】  |      |
|      | 【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。                                 | 120分 |
|      | 【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。                                     | 90分  |
| 第15回 | 【連結会計】   |      |
|      | 【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。連結会計は予習に相当の時間を要するため、早めに着手しておくこと。 | 360分 |
|      | 【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。                                     | 120分 |

|                     |  |      |      |       |                             |     |   |   |     |
|---------------------|--|------|------|-------|-----------------------------|-----|---|---|-----|
| 授業科目名               | 高齢者福祉論   |      |      | 科目コード | W121-12                     |     |   |   |     |
| 科目区分                | 専門科目 - 介護 - 介護の基本  |      |      | 担当教員名 | 井上 理絵                       |     |   |   |     |
| 開講時期                | 2年前期   |      |      | 授業の方法 | 講義                          |     |   |   |     |
| 必修・選択               | 必修   |      |      | 単位数   | 2単位                         |     |   |   |     |
| 前提科目(知識)            | 介護福祉論 ・ 、生活支援技術 ・ 、社会保障、介護過程 ・   |      |      | 後継科目  | 介護福祉論 ・ 、介護過程 ・ 、介護福祉総合演習 ・ |     |   |   |     |
| 関連科目                | 介護福祉論 ・ 、生活支援技術 ・ 、社会保障、認知症ケア論 ・ 、障害者ケア論 ・   |      |      |       |                             |     |   |   |     |
| 資格等<br>取得との関連       | 介護福祉士指定科目、社会福祉主事任用資格   |      |      |       |                             |     |   |   |     |
| 授業の概要               | 高齢者支援の基本理念や高齢者理解の視点に基づき、実際に展開する上での各専門職との連携や協働を効果的に進める方法について考察する。また、現在のわが国における社会的課題である介護の概念やその支援展開の方法について学ぶ |      |      |       |                             |     |   |   |     |
| 学習目標                | 高齢者支援におけるソーシャルワークアプローチの展開方法について理解する<br>高齢者支援の展開過程や各局面における支援者の展開について習得する<br>介護の概念や介護過程の展開についての知識を得る         |      |      |       |                             |     |   |   |     |
| キーワード               | 高齢者支援、ケアマネジメント、介護  |      |      |       |                             |     |   |   |     |
| テキスト・<br>参考書等       | 社会福祉士養成講座編集委員会編「高齢者に対する支援と介護保険制度」(中央法規)  |      |      |       |                             |     |   |   |     |
| 学修成果                | 学生が獲得するべき具体的な成果  |      |      |       |                             |     |   |   |     |
| LO-1                | 生命倫理や介護従事者に必要な倫理に関する知識、介護実践における倫理的課題と利用者の人権について理解する。また、介護の安全や従事者の安全確保に必要な基本的知識を有している。                      |      |      |       |                             |     |   |   |     |
| LO-2                |  |      |      |       |                             |     |   |   |     |
| LO-3                | 介護従事者に求められる倫理観や高齢者虐待に関する知識を基に、介護場面で遭遇する倫理的課題を解決するうえで必要な判断力を有している。  |      |      |       |                             |     |   |   |     |
| LO-4                | 社会的状況や福祉の動向などに関心をもち、専門職に必要な倫理観に関心をもつことができる。  |      |      |       |                             |     |   |   |     |
| LO-5                |  |      |      |       |                             |     |   |   |     |
| 評価方法 /<br>LO (学修成果) | 筆記試験   |      | 提出課題 |       | 成果発表                        | その他 |   |   | 合計  |
|                     | 定期試験   | 小テスト | レポート | 作品    |                             | A   | B | C |     |
| 総合評価(割合)            | 40   |      | 20   |       | 20                          | 20  |   |   | 100 |
| LO-1                | 40   |      |      |       |                             |     |   |   | 40  |
| LO-2                |  |      |      |       |                             |     |   |   |     |
| LO-3                |  |      | 20   |       | 20                          |     |   |   | 40  |
| LO-4                |  |      |      |       |                             | 20  |   |   | 20  |
| LO-5                |  |      |      |       |                             |     |   |   |     |
| 備考                  |  |      |      |       |                             |     |   |   |     |

授業計画

| 回数   | 授業内容 詳細  | 標準時間 |
|------|--|------|
| 第1回  | 高齢者の特性を知る<br>高齢者の社会的理解と身体的理解   |      |
|      | 【予習】テキストP2からP15まで読んでくる   | 90分  |
|      | 【復習】高齢者の生活と心、身体的変化について復習する   | 90分  |
| 第2回  | 高齢者の生活実態について<br>高齢者の精神的理解と、人生における高齢期を総合的に理解する  |      |
|      | 【予習】テキストP16からP28まで読んでくる  | 90分  |
|      | 【復習】高齢者に多い心の病気についてまた死について考えを深める  | 90分  |
| 第3回  | 高齢者支援の方法と実際 高齢者支援の方法   |      |
|      | 【予習】テキスト第9章 P250～P261まで読む  | 90分  |
|      | 【復習】高齢者支援の基本理念や高齢者理解の方法を確認した上で、多様な支援方法のうち、個人・家族に対する相談援助、グループ・地域を活用して相談援助を行う方法をする際の留意点を理解する | 90分  |
| 第4回  | 高齢者支援の方法の実際 介護保険法における連携と実際   |      |
|      | 【予習】テキスト第9章 P262～P285まで読む  | 90分  |
|      | 【復習】「居宅」「介護予防」「施設」「虐待」における実践事例をとおして、多様な「場」と「方法」を用いて提供される支援の実際について学びを深める                    | 90分  |
| 第5回  | 高齢者を支援する専門職の役割と実際 専門職の役割と実際  |      |
|      | 【予習】テキスト 第10章 P286～P290まで読む  | 90分  |
|      | 【復習】さまざまな福祉分野の資格について理解を深める   | 90分  |
| 第6回  | 高齢者を支援する専門職の役割と実際 専門職による協働・倫理  |      |
|      | 【予習】テキスト 第10章 P291～P300まで読む  | 90分  |
|      | 【復習】チームアプローチについて理解を深め、連携や協働を効果的・効率的に進めるための方法や留意点を理解する                                      | 90分  |
| 第7回  | 介護の概念や対象を理解する  |      |
|      | 【予習】テキスト第11章 P301～P311まで読む   | 90分  |
|      | 【復習】介護の概念について歴史的背景を鑑み、理解を深める   | 90分  |
| 第8回  | 介護の専門性の理解と介護の対象者   |      |
|      | 【予習】テキスト第11章 P312～P334 を読む   | 90分  |
|      | 【復習】介護の専門的理解と対象者について関連性をまとめ、ICFの視点からも考えを深める  | 90分  |
| 第9回  | 介護予防の概念と介護人材確保について   |      |
|      | 【予習】テキスト 第11章 P335～P342まで読む  | 90分  |
|      | 【復習】「介護」の本質や内容について、振り返り概説できるようにする  | 90分  |
| 第10回 | 介護過程 介護各論 -1 自立に向けた介護・家事における自立支援   |      |
|      | 【予習】テキスト第12章 P344～P361までと第13章 P366～P385まで読む  | 90分  |
|      | 【復習】介護過程の概要と展開技法を振り返り、理解を深める。自立支援としての介護の展開と家事における自立支援について振り返り理解を深める                        | 90分  |

|      |   |     |
|------|---|-----|
| 第11回 | 介護各論 -2 身支度・指導・睡眠・食事・口腔衛生・入浴・清潔・排泄の介護                 |     |
|      | 【予習】テキスト第13章 P375～P399まで読む                            | 90分 |
|      | 【復習】身支度・指導・睡眠・食事・口腔衛生・入浴・清潔・排泄の介護を振り返り、支援方法について理解を深める | 90分 |
| 第12回 | 介護各論 -3 身支度・指導・睡眠・食事・口腔衛生・入浴・清潔・排泄の介護                 |     |
|      | 【予習】テキスト第13章 P375～P399まで読む                            | 90分 |
|      | 【復習】身支度・指導・睡眠・食事・口腔衛生・入浴・清潔・排泄の介護を振り返り、支援方法について理解を深める | 90分 |
| 第13回 | 介護各論 認知症ケア  |     |
|      | 【予習】テキスト第14章 P400～P427まで読む                            | 90分 |
|      | 【復習】認知症ケアの理解と認知症高齢者を取り巻く現状について理解し、支援方法を考える            | 90分 |
| 第14回 | 介護各論 終末期ケア・住環境  |     |
|      | 【予習】テキスト第14章 P428～P455まで読む                            | 90分 |
|      | 【復習】終末期ケアをめぐる概念からケアの実際、家族との関係や居住環境について考えを深める          | 90分 |
| 第15回 | 前期のまとめ  |     |
|      | 【予習】1回から14回までのテキスト範囲、配布資料を見てくる                        | 90分 |
|      | 【復習】前期末試験に向けて前期の学びを確認する                               | 90分 |